

4
17~20

トーマス・ハッサー校の生徒が来村

高山中学校と平成25年度に姉妹校提携をしたトーマス・ハッサー校から、カレン校長を含めた引率者5名と生徒13名が4日間来村しました。

生徒は、村内外6組の家庭にホームステイをして、日本の生活を体験しました。

18日(金)には、高山中学校へ来校し、歓迎行事とゲームや玉入れを通して楽しみながら交流を深めることができました。学校給食を食べ、午後は、ぐんま天文台、ロックハート城、道の駅「中山盆地」などの村内施設を見学しました。

ホストファミリーのご家族と過ごした4日間は、それぞれ貴重な体験となったようで、帰りには別れを惜しむ姿が見られました。

今回、トーマス・ハッサー校来校にあたり、ご協力をいただきました関係者皆さまに心より感謝申し上げます。

高山村教育委員会



▲玉入れにチャレンジ



▲ぐんま天文台見学



▲高山村の学校給食を食べてもらいました



▲中学生との交流行事にて



▲授業参加



▲ホストファミリーと村内散歩



▲ホストファミリー宅で



▲ホストファミリーとのお別れ

4
21

高山村ガイドボランティアの会

城跡が取り持つ御縁

新潟県南魚沼市の14名より、尻高城(要害城)へ行ってみたいとの依頼を受け、尻高の有志4名とガイドボランティア4名で案内をしました。1時間半ほどかけ、石宮近くの急坂はロープをたぐりながら、無事全員が本丸(標高697m)まで到着しました。

参加された多くは旧塩沢町(現在の南魚沼市)大木六の方で、かつて尻高氏の一族が治めていたことのある地域の方々でした。尻高氏は、尻高地区や中之条(名久田、伊勢町、青山、市城)を所領した一方、戦国時代、尻高氏の一族が上杉氏に仕えたころ、越後の木六城の城主だったことがあるとのことでした。これらのことから、高山村の尻高城址を視察することになったとのことで、尻高氏に関する資料を持参するなど研究熱心なグループに感じ入りました。

この御縁を大切に、今後は私たちガイドボランティアが大木六へ行きたいと思っています。



▲本丸址にて

4
22

高山村消防団「F・R・S班」

吾妻広域消防本部による普通救命講習が開催され、高山村消防団「F・R・S班」が受講しました。火災現場や災害時等に活かせるよう、AED使用訓練に加え、一酸化炭素中毒、出血、火傷の対応方法等を学びました。

「F・R・S班」は、女性消防団員5名で構成され、火災現場での救護活動や予防消防活動を行います。班設置2年目となる今年度は、子ども達にむけた啓発活動準備や消火技術習得を目標にするなど、今後も活躍が期待されます。



▲講習の様子

4
30

ご厚志に心より感謝申し上げます

桐生市に所在する農事組合法人赤堀町養鶏組合様から、企業版ふるさと納税としてご寄附をいただきました。

この度のご厚志に感謝申し上げますとともに、頂戴した寄附金は趣旨に沿いまして大切に活用いたします。

ご寄附額 金 1,000,000円

※企業版ふるさと納税とは、地方創生応援税制のことで、地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに志のある企業の寄附を呼び込むことで、新たな民間資金の流れを巻き起こし、地方創生の取組を深化させていくことを狙いとして創設された制度です。

高山村では「高山村まち・ひと・しごと推進事業」が令和5年度より国から認定を受けて、企業版ふるさと納税の対象事業となっています。



たかやまこども園

5/2 こどもの日集会

「こどもの日集会」を行いました。園長先生の「こどもの日クイズ」で、行事の由来などを知った後、自作のこいのぼりをみんなの前で紹介しました。

年長さんは市松模様やはじき絵で作成した素敵なこいのぼりを披露しました。年中さんや年少さんも自分で作ったこいのぼりの工夫したところや頑張ったところをしっかりと発表できました。

元気に「こいのぼり」の歌をうたい、最後にみんなで「かしわ餅」をおいしくいただきました。





高山村保育所

● 4/18 デイサービス・保育所 合同お花見会

デイサービスのお年寄りの方と保育所児で、合同お花見を行いました。元気に挨拶をしたり、満開の桜と一緒に見たりして、ほのぼのとする穏やかな時間を過ごしました。



● 5/2 こどもの日の会

こどもの日の会では、こどもの日の話を聞いたり、クラスごとに製作したこいのぼりを発表したりしました。また、大きなこいのぼりを近くで見たり、布団にして寝てみたりし、こいのぼりを身近に感じながら、これからも元気に大きくなれるよう願いました。おやつには“お祝いプチダノン”を食べました。



高山中学校



● 5/8.9 第2学年高原学校

「同心協力～友情・絆UPチャレンジ」

